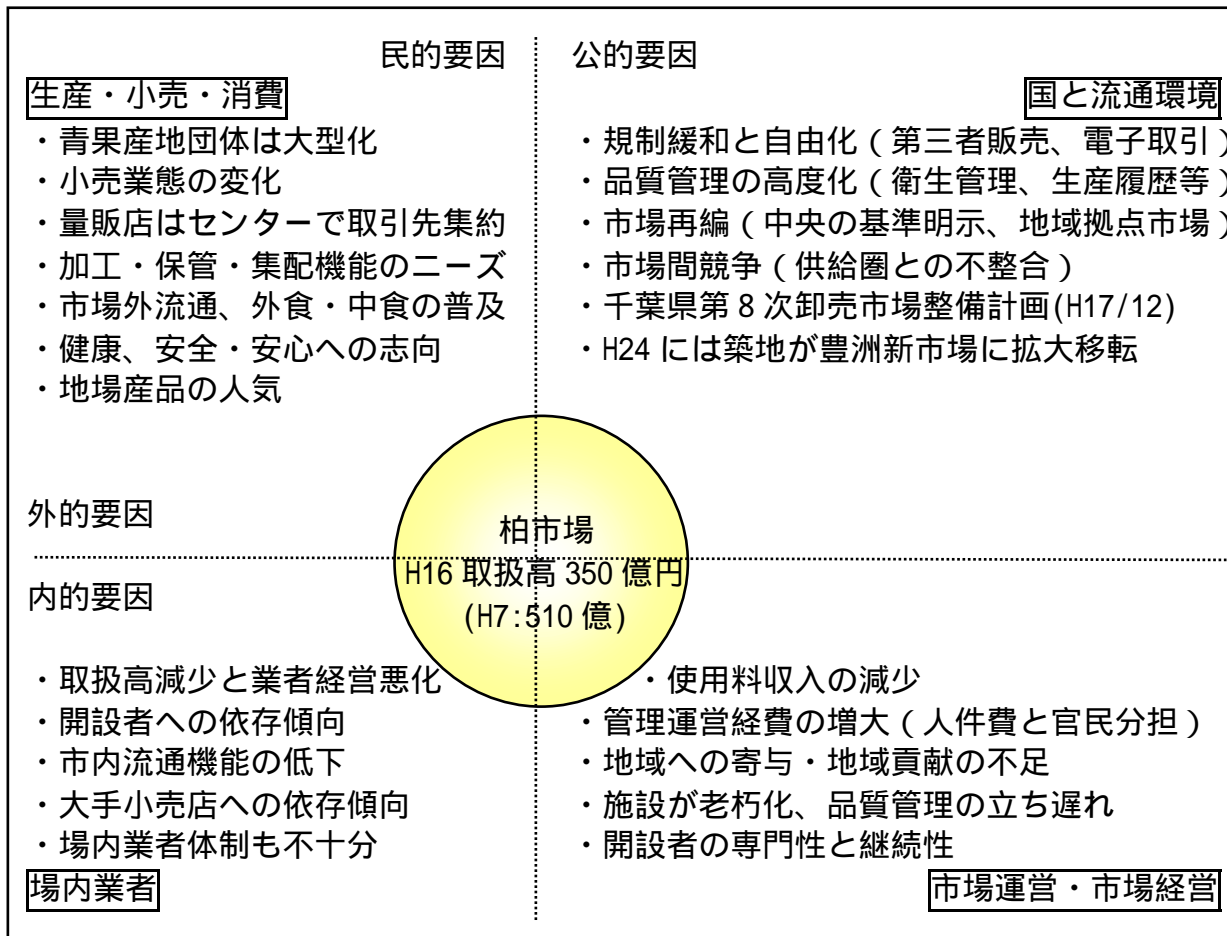


現状と課題



市場整備の方向性（H17.1.17 審議会答申）

柏市場の今後のあり方

(1) 求められる流通機能

- 産地・食品産業の信頼を得る地域拠点の役割
- 規制緩和への対応、業者経営の改善・強化
- 取引活性化、地産地消(地域の「Port-シップ」)
- 安全・安心の確保、情報の高度化

(2) 整備と運営のあり方

- 民間活力の導入、運営健全性確保
- 取引体制の強化、開設者の機能強化

(3) 地域に貢献する卸売市場

- 現在地の周辺土地利用との整合
- 地域連携、食産業の集積等経済活性化
- 食育、市民利用空間等市民に親しまれる市場

長期整備の方向

結論：「新たな場所に移転して整備が有効」

5つの検討事項

ア 市場のあり方を踏まえたコンセプトの策定

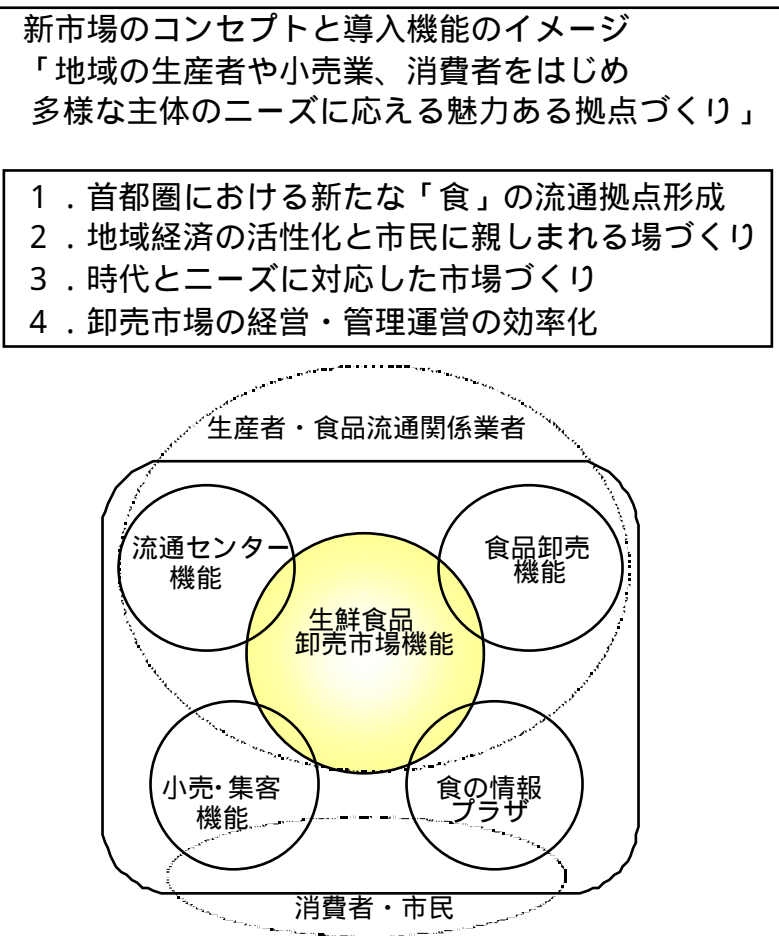
イ まちづくりに寄与する用地選定

ウ 卸売業者の体制整備(連携・統合)

エ 民活導入を含む整備手法の検討

オ 地域拠点市場の位置付け

新市場のビジョン案（コンセプト）



今年度の検討事項

長期整備基本計画の策定

(1) 事業計画の検討

事業内容の検討

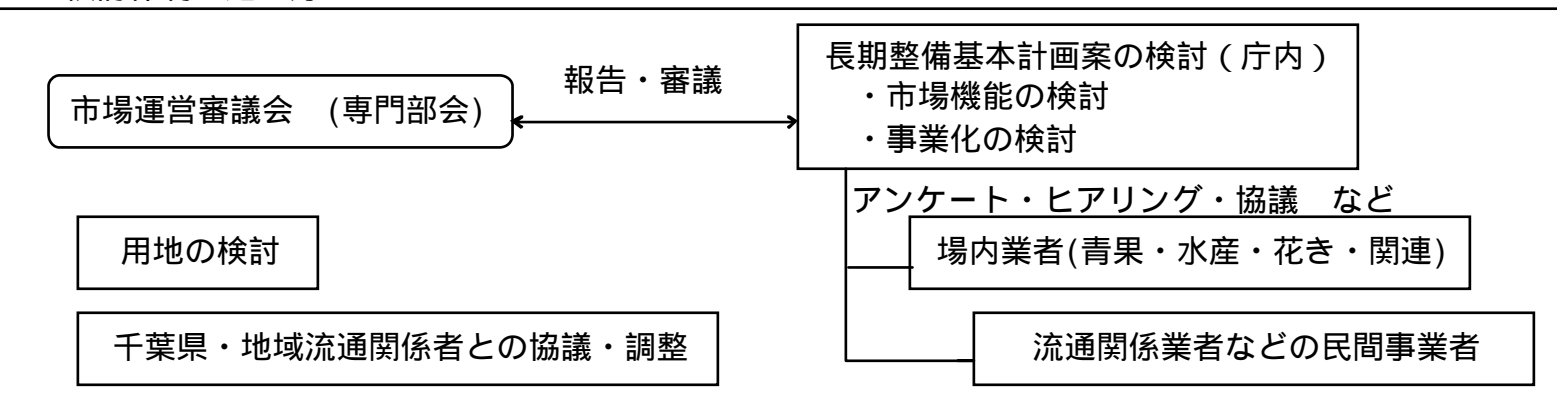
- 管理・運営に関する検討
市場会計・業者経営等の財務分析、移転後に市場が成立するための必要な方策
- 機能・施設に関する検討
基本となる市場機能・施設の整理、補完・高付加価値機能、市民利用型施設事業手法の検討
- 1) 市場の整備運営における民活の可能性検討
事業を構成する業務の整理と民間に委ねる業務と移転したいリスク、民間事業者の把握、最適民活手法の決定
- 2) 周辺の諸機能集積事業における民活の可能性
- 3) 事業者の公募条件等の検討

(2) 市場機能整備の検討

- 1) 目標取扱数量の設定 目標取扱量、卸売業者等の体制
- 2) 概算施設規模の算定 施設経由率、必要施設と規模の算定
- 3) 主要システムの検討 取引、物流・交通、衛生、情報、環境
- 4) 施設配置・概算事業費・整備スケジュールの検討

その他 (1) 用地の検討 (2) 地域拠点市場の位置付け (3) 現市場の活性化

検討体制と進め方



長期整備基本計画の検討スケジュール

